

連携施設から提出された意見と基幹施設の対応等の概要

※詳細は別紙のとおり

意見照会事項	連携施設からの主な意見	基幹施設の対応等
指導医の配置方針で改善が必要なこと	① 基幹施設からの指導医の派遣を検討してもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各内科医局と連携をとり、各医療圏のバランスを考慮に入れながら、指導医の派遣について検討する。 ・ 連携施設の指導医の数や指導分野に応じて専攻医を配置する方針としている。等
	② 特別連携施設における専攻医の指導を、基幹施設の指導医にサポートしてもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての連携・特別連携施設への指導医の派遣は困難であり、電子メールや晴れやかネット等を利用した遠隔指導を検討している。等
専攻医のローテーション方針で改善が必要なこと	① 専攻医のローテーションの期間を6ヶ月又は1年にしてもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携施設における研修期間を6ヶ月と定めている。研修修了要件として希少疾患を含めて幅広い経験が求められており、地域密着型病院での長期研修は困難である。 ・ 地方の病院へも専攻医を派遣するのは本研修制度の目標である。約60病院と連携しており、バランスを考えると3ヶ月の研修となる施設も出てくる。等
	② 専攻医の不在期間がないよう継続して派遣してもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1人の専攻医の研修期間を6ヶ月とし、半年ごとに連続して専攻医を派遣するよう調整する。等
	③ 複数のプログラムのローテーションが重なり過ぎないように、基幹施設間で調整してもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専攻医の受け入れをお願いする時期にその都度連携施設に相談する。等
その他基幹施設との間で改善が必要なこと	① 専攻医の給与等の処遇の基準を示してもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携施設での研修期間中の専攻医の給与等の処遇は、連携施設の規定に従うこととしたい。等
	② 連携施設の研修内容と評価方法を示してもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携施設での研修内容は、基幹施設の指導医が評価指導することになっている。等
	③ 基幹施設と連携して研修を実施したい。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週1回程度を基幹施設での研修日に当てて、基幹施設の指導医から専攻医を直接指導する体制は確保できる。等